

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	建設部	道路管理課	土地担当	内線等	2269
----	-----	-------	------	-----	------

事業コード		事務事業名	国有財産譲与申請事務事業				
根拠法令等	国有財産法第9条第3項		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのある街づくり	道路
----------------	----

事務事業の内容

対象	公図上で無地番の道路及び水路(国有財産)を
手段	蒲郡市が譲与受領することによって
想定する成果	市有財産の増大と道路利用の多目的化を図る

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
譲与申請対象 (公図枚数 1,040枚)	45枚	173枚	300枚

目標値

成果指標名	譲与申請対象地域における公図処理枚数(実施割合)
成果指標の説明	公図処理枚数 / 譲与申請対象地域における公図処理枚数 × 100 (%)

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	16.3%	26.9%	28.8%
	実績	4.3%	16.6%	-
事業費	事業費	987,420	1,904,740	1,548,000
	人件費	6,429,000	6,268,500	6,372,750
	(人数)	0.75	0.75	0.75
	合計	7,416,420	8,173,240	7,920,750
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,416,420	8,173,240	7,920,750

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	ほぼ、目標どおりで進捗してきた。譲与申請受領済み地域において、廃道処理事務が格段に早くなっている。
効率性	6	6	膨大な事務量であり、アルバイトの採用により経費節減と事務効率を図っている。
公共性	10	10	この事務は、市が実施するしかない。
緊急度	10	10	地方分権に係る事務であり、平成12年度から平成16年度までに完了させなければならない。
小計	32	32	
市民参加度	3	3	まだ、一部の地域のみであるが、廃道処理事務が早くなり、受益者の満足度は上昇している。
合計	35	35	
総合評価	B	B	本事業は地方分権一括法に伴い、国有財産法第9条第3項の規定によって進められている。事業としては平成16年までに完成させなければならない。完成後は、市民への廃道による払い下げが短期間の処理ですむことになる。

これまでに実施した改善点

達成度	豊岡地区以東は、譲与受領が済み、廃道処理の手続きが格段に早くできるようになった。
効率性	他都市では高額な委託料予算を計上しているが、本市はアルバイトを採用することで経費節減ができています。
公共性	
緊急度	平成12年から平成16年までに完了すべき事務であり、アルバイトの確保により期限内完成を図る。
市民参加度	市民から廃道又は道路の付替え等の要望が出された時に速やかに対応する。

今後の改善すべき点

達成度	事務の進捗率を入念にチェックし、必要な対応を考えるべきである。
効率性	委託による事務も可能であるが、膨大な予算が必要であり、当面、直営で対応する方が効果的である。
公共性	この事務は、今後も市が実施するしかない。
緊急度	事務進行状況によってはアルバイトの増員又は職員を査定事務からはずした対応が必要と思われる。
市民参加度	市民から廃道又は道路の付替え等の要望が出された時に速やかに対応する。